

(3) 就職委員会**① 設置の趣旨（目的）及び組織****ア 組織設置の趣旨（目的）**

就職委員会は、学生の就職対策に関する事項について調査検討することを目的として、教授会に設置された専門委員会である。

イ 組織の構成及び構成員等

就職委員会は、学長が指名した副学長、各専攻・コース等から選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。）19人、学生支援課長及びプレイスメントプラザ次長により構成されている。

② 運営・活動の状況**ア 委員会等の開催状況**

平成28年度においては、委員会を4回（5月、10月、12月、2月）開催した。

イ 審議された主な事項

主な審議事項は、①平成28年度年度計画、②第3期中期目標・中期計画に係る年次計画、③就職支援に関する教員アンケート、④平成29年度就職指導計画、⑤教員採用選考試験（大学推薦）の学内選考、⑥平成28事業年度の業務実績に関する自己点検・評価等であった。

ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

就職支援体制の強化を目的とした就職委員会規程の改正により、平成28年度から委員が増員され、学生が所属する全コース・科目群から委員が選出される体制が整えられた。このことにより、就職委員会が行う進路希望調査、就職内定・教員採用試験等受験状況調査、卒業生・修了生進路・就職調査についても、各コース・科目群との連携して、円滑に実施することができた。

平成28年度の新たな取組として、次の事項を実施した。

- i) プレイスメントプラザの利用促進のため、委員会において各コース・科目群所属学生の利用状況を分析し、コース等における学生指導を依頼した。
- ii) 大学院1年次学生及び教員免許取得プログラム2年次学生からの進路希望調書提出時に、指導教員による進路に関する学生との面談を実施した。

また、平成29年度採用臨時任用教員の依頼及び教員採用に関する情報収集を目的とした就職委員会委員による教育委員会訪問を行った。

③ 優れた点及び今後の検討課題等

教員採用試験対策講座等の就職支援プログラム、キャリアコーディネーターによる相談・指導、プレイスメントプラザ及び教員採用試験学習支援システムにおける就職情報の提供など、教員就職を中心とする就職支援の各種取組は大きな成果をあげており、平成28年10月に実施した就職支援に関する教員アンケートにおいても、就職支援の充実を評価する回答が多く寄せられた。

文部科学省が平成29年1月31日に発表した「国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）の平成28年3月卒業者の就職状況」において、本学の平成28年3月学部卒業生（大学院等への進学者及び保育士への就職者を除く。）の教員就職率は80.0%で、全国44大学・学部中、第5位であった。4年連続で5位以内を維持する結果となった。

平成28年度からの第3期中期計画においては、学部卒業生及び大学院修了生の教員就職率について、目

標数値が設定されている。この目標を達成するため、学生の教員就職への意識を高め、プレイスメントプラザの利用や各種就職支援プログラムへの参加の促進が図られるよう、学内の他の組織や教員との連携をさらに推進する必要がある。